

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)姫路市立荒川南小学校	階数	地上3F
建設地	兵庫県姫路市玉手4丁目15番	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、22条特	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,880時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年1月 予定	評価の実施日	2026年1月9日
敷地面積	24,803㎡	作成者	湯浅 武夫
建築面積	3,037㎡	確認日	2026年1月9日
延床面積	6,717㎡	確認者	湯浅 武夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーへの配慮と共に室内環境の快適性、建築物の長寿命化、景観への配慮なども含め建築物の総合的な環境性能を評価できるように計画。	その他 0
Q1 室内環境	建物用途を考慮し、遮音性能及び室内採光の確保について特に配慮。	Q2 サービス性能 将来の改修に備えたフレキシブルな計画を行う。
LR1 エネルギー	省エネ適合判定の基準を満たしている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の高さ、壁面位置、外装、屋根等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させるように配慮。沿道に緑地帯を設置。
	LR2 資源・マテリアル 合理性を重視したプランニングや材料選定を行い、非再生性原材料使用量を削減する。	LR3 敷地外環境 関連法規に準拠し、環境配慮に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される